

まちづくり市民懇話会

とことん懇話会

オンラインで開催!

TOPICS

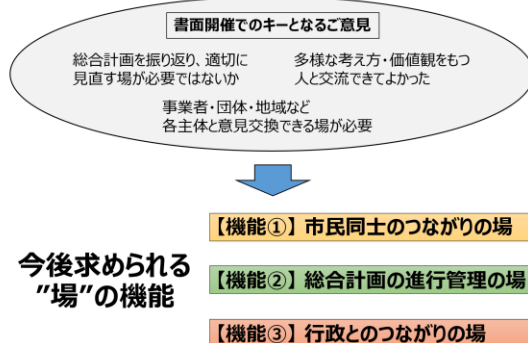
第38回目もオンラインで開催し、前回の書面開催にて、皆さんからいただいた意見を振り返り、市民同士のつながりの場、総合計画の進行管理の場、行政とのつながりの場について、既存の取組などから、今後求められる場や取組について、みんなで共有・意見交換しました。



とことん1

到達目標 書面開催での意見を踏まえ、今後求められる“場”の機能について確認しましょう。

今後求められる“場”について



前回の第37回（書面開催）の内容について振り返りました。今後求められる“場”の機能として、『**市民同士のつながりの場**』、『**総合計画の進行管理の場**』、『**行政とのつながりの場**』の3つをあげ、それぞれの考え方と既存の主な取組（場）、意見交換のポイントについて共有しました。

■開催概要

第38回：令和4年 9月25日（日）

場 所：オンライン+福祉総合センター（臨時オンライン会場）

参 加 者：市 民：現地オンライン 4名 オンライン 5名

若手職員：現地オンライン 4名

議 題：1. 書面開催のまとめと今後求められる“場”について

2. 意見交換

3. 次回について

とことん2

到達目標 今後求められる“場”について、
どうすれば場や取組が活性化するかなど、
さらに意見交換しましょう。

3つの今後求められる“場”の機能ごとに、どうすれば場や
取組が活性化するか、また、よりよいまちづくりにつながる
かという視点で、全体で意見交換を行いました。

地区市民協議会における継続的に関われる仕組みと人材の育成・体制をどうするか

- 地区市民協議会の参加者は、年齢や役職などを理由に割り当てで決まる
- ほとんどが例年と同じ活動しかしておらず、まちづくりについて議論するような場がない
- まちづくりを深く考えるために長期的に個人として参画し関わる仕組みをつくる
- 「住民自身の手によるまちづくりをすすめる」という目的に沿ってしっかり進める
- 事業者の意見を取り入れる仕組みをつくる
- まちづくりについて自ら企画できる人・したい人を集め、養成していく

■ 現状（課題）
■ 改善アイデア

若い世代の意見をどう拾うか

- 若者は、お祭り（だんじり）には参加するが、一般的な事柄については参加にいたらない
- できあがっている組織の中に一人で飛び込んでいく勇気がない
- 若い世代で構成される地区市民協議会のようなものをつくる
- 組織がPTAの会合に参加して若者にインタビューする
- 子どもと一緒に遊べて自分で意見を言いやすい会議の場をつくる

懇話会のように、参加者同士のつながりをいかに保っていくか

- 市民やそれぞれの組織の参加者の中でも温度差がある
- まちネットや地区市民協議会など、色々良い取組をされているのに市民に周知出来ていない
- みんなの目的が一つになるよう意識を醸成する
- 目的を明確化、テーマを具体化した場にする
- 政策を世代別に考え興味を持ってもらう方を議論する

とことん3

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です



市民

- ・ “場”の活性化は一人ひとりが、一歩出て交流を持つ事だと思います。
- ・ 「だんじり祭」を祭りだけに終わらせず、若い世代の意見を吸い上げる場にも利用する事を考えては。
- ・ 具体的な話を議題として、自分事となるような場があればもっと若い人が参加し、活性化していくと思います。



若手職員

など

■今後の予定

【第39回】令和4年10月16日（日）➡『計画策定後の意見交換の場のあり方』

【第40回】令和4年10月30日（日）➡ 最終報告会

お問い合わせ：岸和田市役所 総合政策部企画課 政策担当 （tel. 072-423-9492）